



# DENODO グローバル クラウド調査 2021

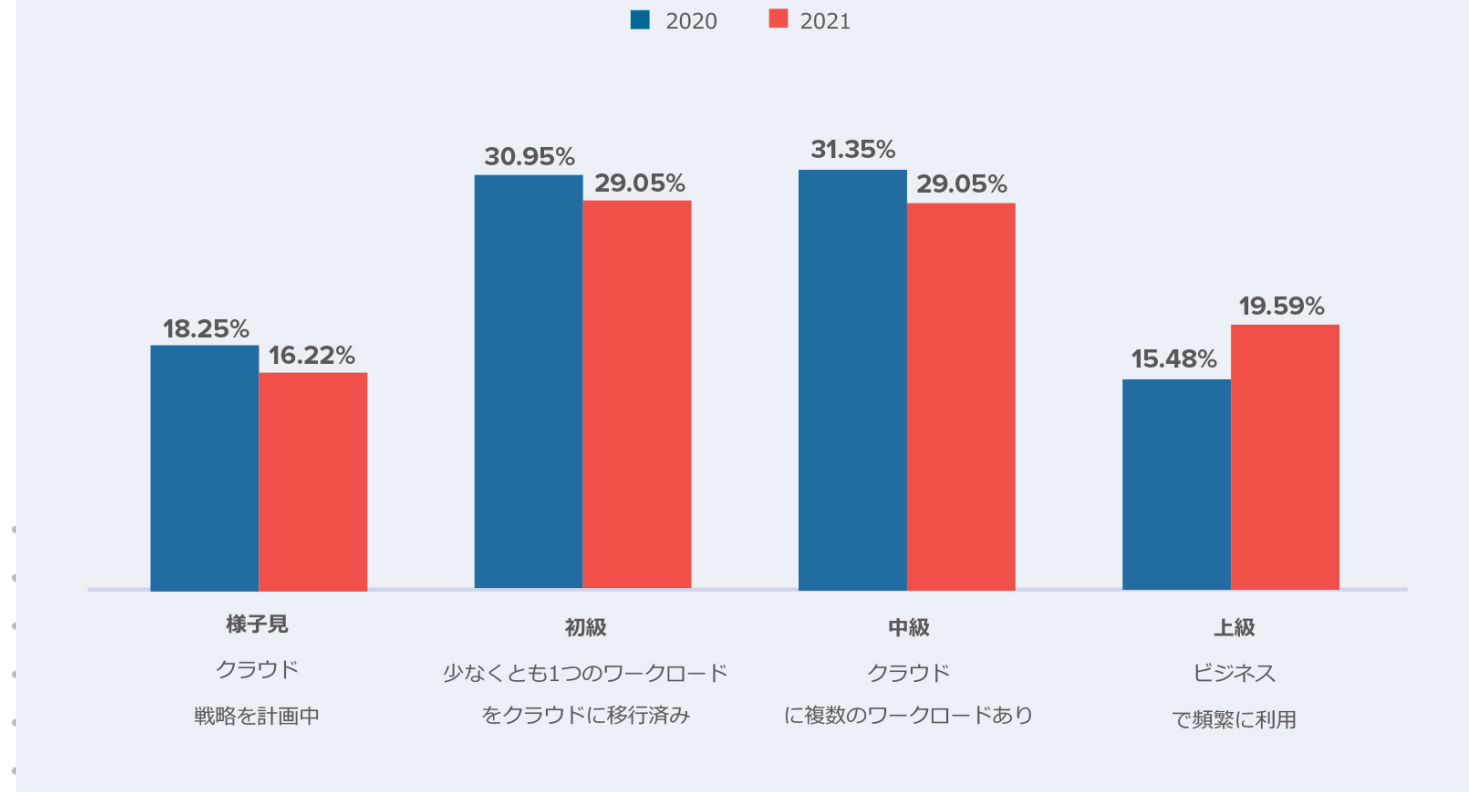
# クラウドでの高度なワークロードの実行が加速し、ユーザの信頼が高まっている

80%近くのユーザーが、クラウドで何らかのワークロードを実行

上級ユーザー数が25%増加したことは、クラウドの使用と採用が増加傾向にあることを明確に示している。



## 2020年と2021年のクラウド導入の比較

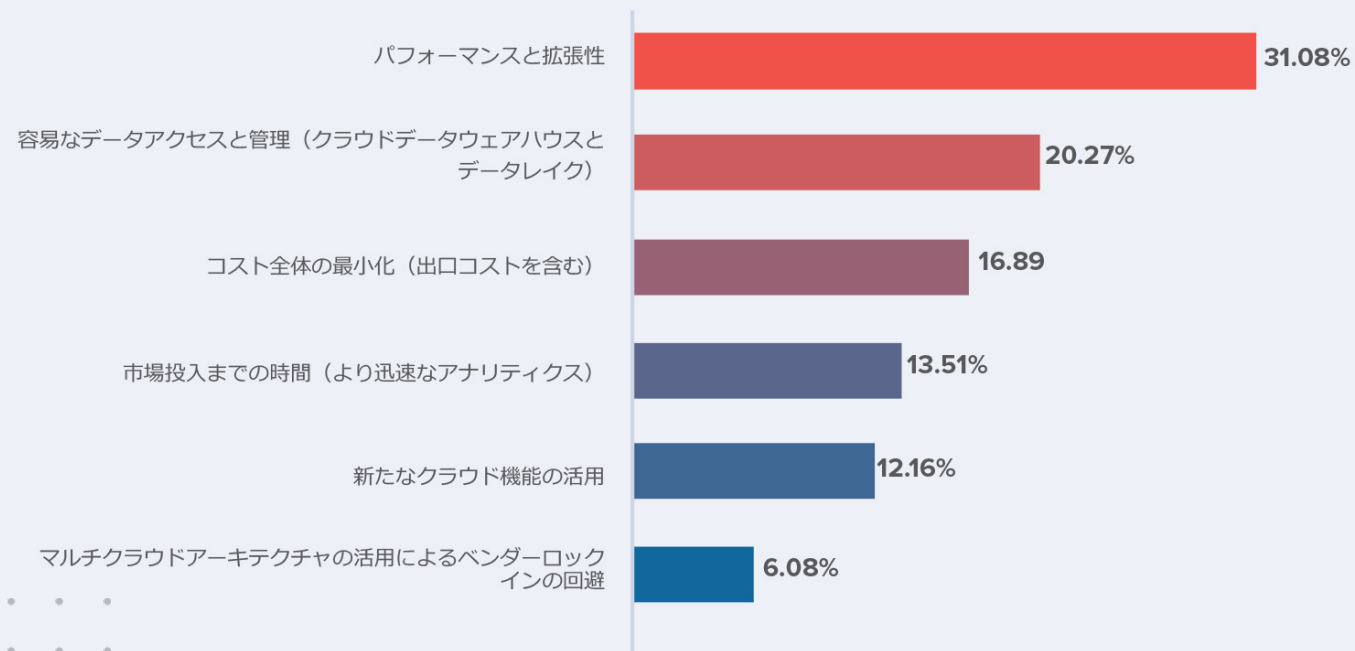


# クラウドへ移行する理由は たくさんあるが、 パフォーマンスと拡張性が 上位に

クラウド移行の主な要因

パフォーマンスと拡張性、  
データアクセスの容易さ、  
および全体的なコストの  
最小化が上位を占める。

## クラウドを目指す理由

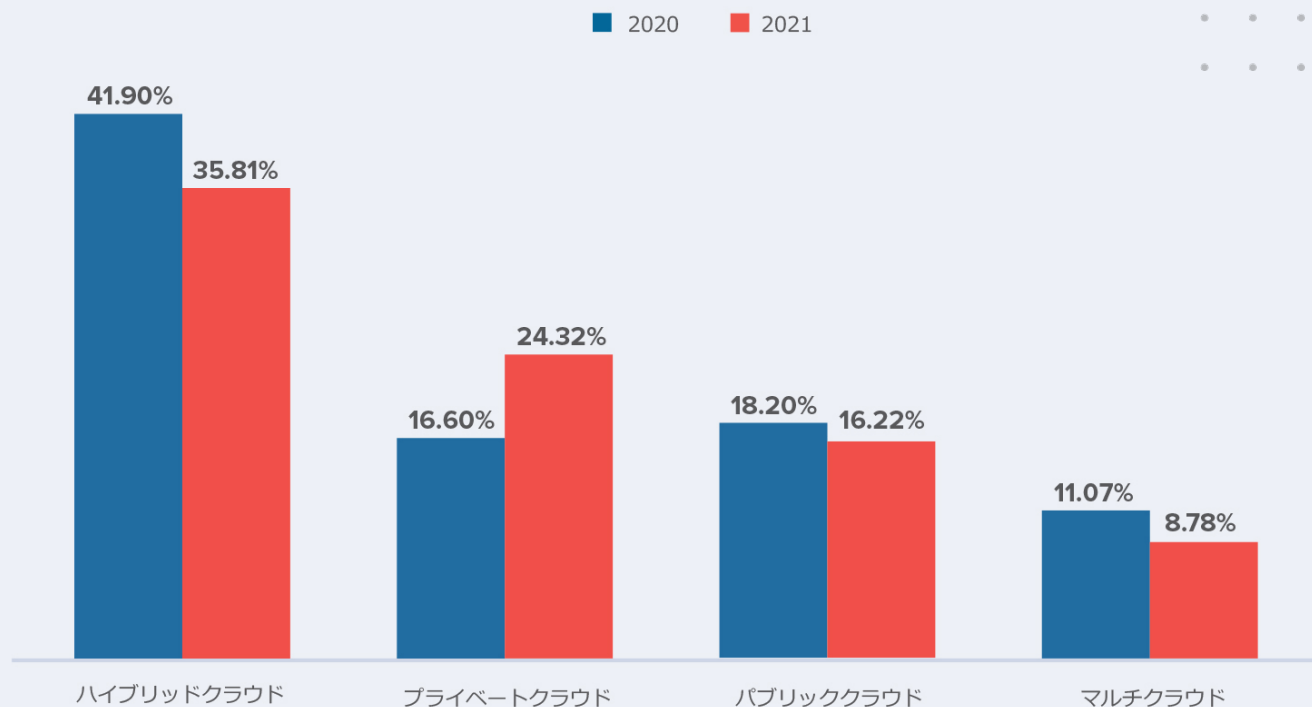


## クラウドに移行する際、 展開方法に明確なアイデアが あると移行が容易になる

プライベートクラウドはいくつかの活気に満ちた使用法を示す

ただし、ハイブリッドクラウドは、クラウド展開の標準になりつつあり、参加者の3分の1以上がそれを主導している。

### 2020年と2021年のクラウド展開の比較

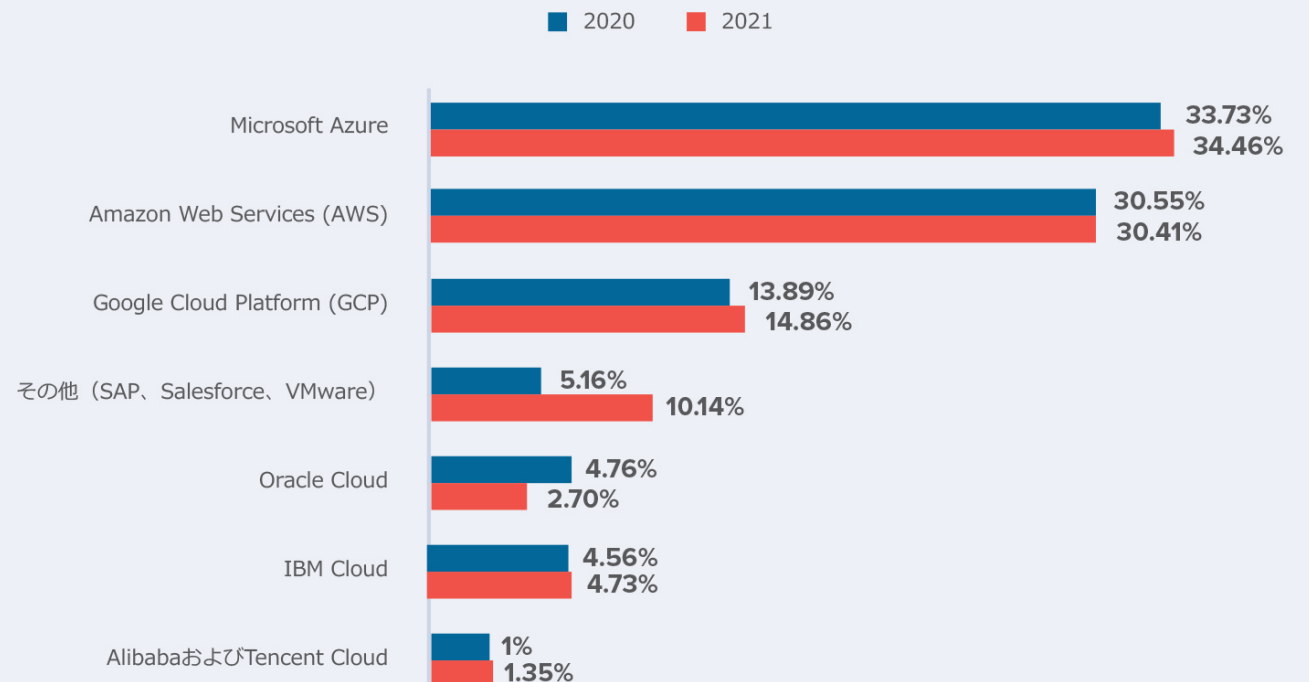


## 集中している市場： トップ3のクラウドサービス プロバイダーで80%の 市場占有率

市場シェアの80%をAWS、Azure、GCPが占める

地域によるが、上位のクラウドサービスプロバイダーに関して驚きはない。

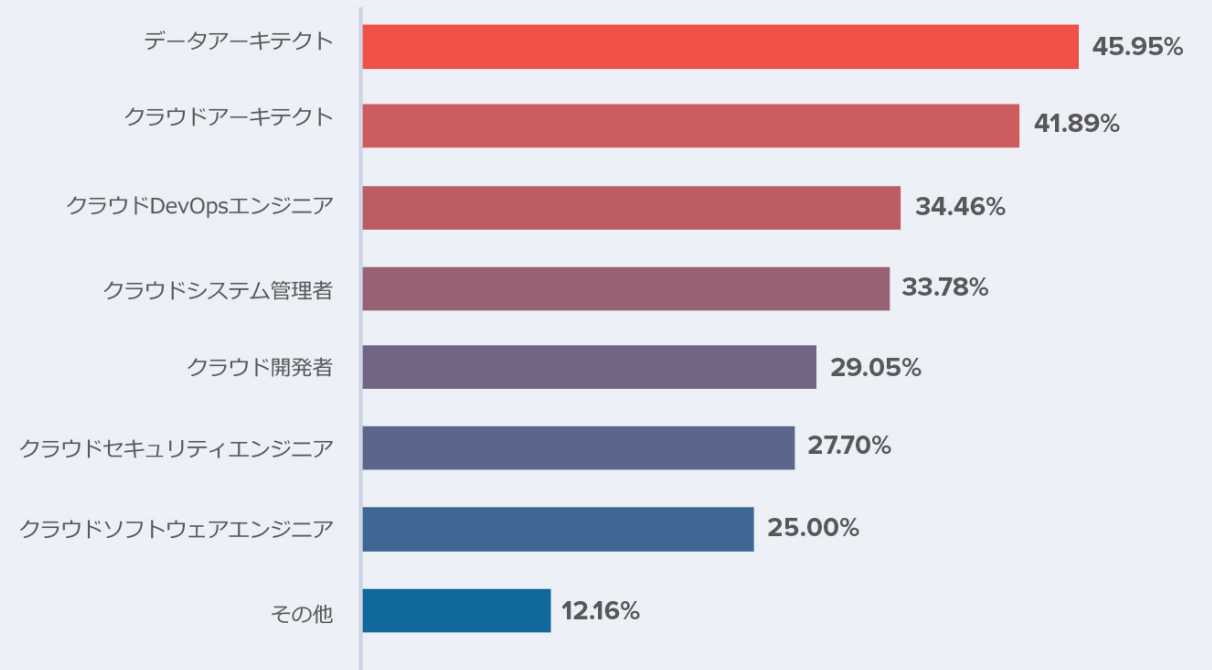
### 2020年と2021年のクラウドプロバイダーの比較



## アーキテクトがクラウドで最も需要のある役割

回答者の50%近くがデータとクラウドアーキテクトの役割の需要を表明し、続いてDevOpsとクラウド管理者の需要が33%となった。

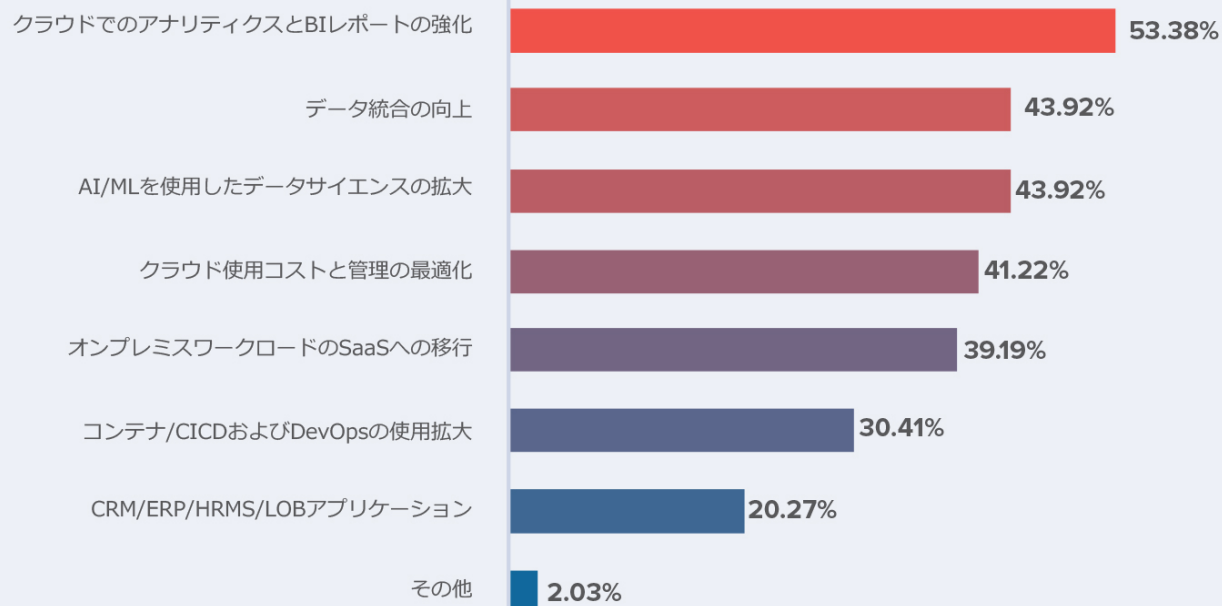
### 需要の高いクラウドのロール



# BIとデータ統合がクラウドの 上位ユースケース

BIと分析は依然としてトップのクラウドイニシアチブであり、より良いデータ統合を確立し、AI / MLを使用してデータサイエンスを拡大することが続く。

## 上位のクラウドイニシアチブ/使用事例

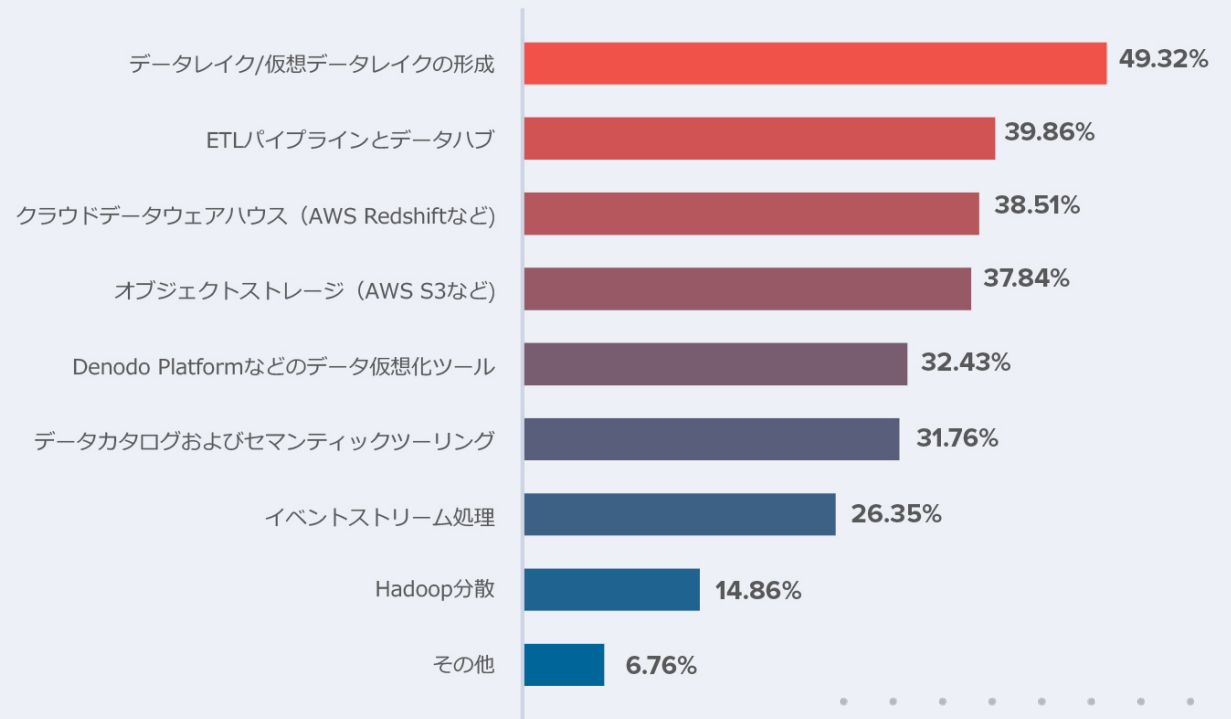


# クラウドへのデータ統合の需要は、データレイクとクラウドデータウェアハウスによって推進

回答者の50%近くが、クラウドでのデータ管理にデータレイクやデータウェアハウスなどの複数のソリューションを活用。

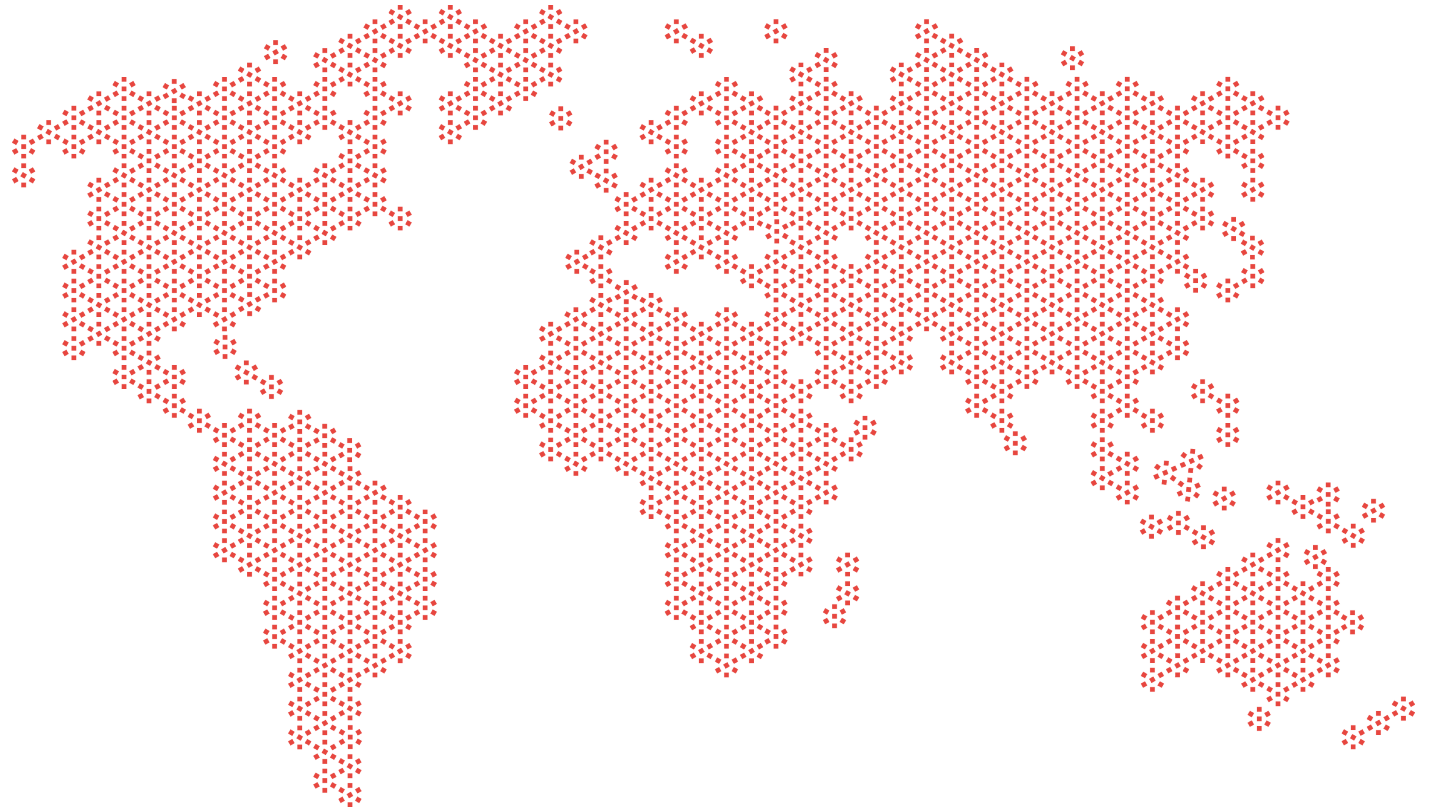
データ仮想化は、データカタログやストリーム処理のサポートなどのコア機能を提供しながら、データ基盤の最新化を適切にサポート。

## クラウド内でのデータ統合





# Thanks!



[www.denodo.com](http://www.denodo.com)

[info@denodo.com](mailto:info@denodo.com)

© Denodo Technologies. All rights reserved

Unless otherwise specified, no part of this PDF file may be reproduced or utilized in any for or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and microfilm, without prior the written authorization from Denodo Technologies.